



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

5年に一度開催される和牛の祭典「全国和牛能力共進会（高校生及び農業大学の部）」に本校雌牛「ひかり号」を伴って、生物生産科3年の池内春日君と横山竜悟君が出場しました。



1 「全国和牛共進会」への道

鹿児島県遠征を間近に控えた生徒達から「5年後の北海道大会には今回以上に多くの生徒を参加させて欲しい」との要望がありました。今回の出場にあたり、川西町や関係団体、町内畜産家の方々に物心両面でお世話頂いた彼らは、年代を超えた多くの方々と同じ目標に向かって取り組むことの楽しさや有難さを心底実感できているに違いありません。

大会成績も全国選りすぐりの24頭中14位と大健闘。引率者も感激のあまり泣きながら電話で報告してくれました。生徒や職員を励まし、支え、導いて頂きました皆様に心より御礼申し上げます。



【目次】

- 1 和牛共進会 ①
- 2 和牛共進会 ②
- 3 和牛共進会 ③
- 4 和牛共進会 ④
- 5 進路活動の状況
- 6 演劇部東北大会へ
- 7 タンザニア人と交流
- 8 「保育消費」講話
- 9 置農植物園
- 10 YouTube 「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム

2 「日本一の米沢牛肥育農家になる！」①

今回共進会に出場した池内君の夢を以下に抜粋して紹介させていただきます。【…牛は幼いころから身近な存在でした。元々動物が好きだった私は、飼育管理を手伝ううちに、「かわいい、もっと一緒に居たい」と思うようになりました。…高校での生活は「幸せ」に尽きます。実習で牛と触れ合い、牛の生態や管理方法について学習する日々は、充実して楽しいものです。…ひかりは、置賜農業高校で引き継がれてきた母親の「はなび」に、山形県の種雄牛「福福照」を交配して生まれた牛で、将来的には繁殖牛として米沢牛のさらなる食味向上に貢献することが期待されています。



3 「日本一の米沢牛肥育農家になる！」②

調教開始当初、ひかりは人が近づくだけで牛房の隅に行ってしまう程臆病な性格で、ブラッシングすらままならないこともありました。それでも毎日あきらめずに調教を続けることで少しずつ人に慣れ調教にも従うようになってきました。…全国大会に向け調教を継続して、ひかりを日本一の繁殖牛に育成し、米沢牛ブランドを再び全国にPRすることで、取引価格の向上に少しでも貢献したいと考えています。…二つ目はTMRに関する研究活動です。本校で作製したTMRはワインの搾りかす等の果実残渣を使うため費用がかからず、一般的なTMRと比べて約30%の低コスト化を可能としました。今後は、米沢牛などの肥育牛に給餌した場合



4 「日本一の米沢牛肥育農家になる！」③

の効果について検証していきたいと考えています。…

私は高校卒業後、山形県立農林大学校へ進学し、畜産分野に関する専門的な知識と技術を身につけます。その後は牛飼いの下で修業し、独立したら和牛の繁殖経営で新規就農します。…これらの目標は決して簡単に実現できるものではありませんが、ひかりの調教と研究活動にこれからも全力で取り組んでいきます。】筆者はこれほど胸を熱くする生徒の文章を知りません。正に実学の強みと可能性がここに証明されているかのようです。自信も身が引き締まる思いで紹介させていただきました。



5 一般企業就職試験で「全員一発合格」。

なんと、一般企業就職試験に臨んだ3年生が「全員一発合格」。公務員就職希望者も全員1次試験を突破して、現在は多くの先生方に励まされながら2次試験に向けて準備しています。顕著に高い出席率を誇る「学校大好き」3年生軍団。今後は進学試験が始まり、結束して前に進みます。

そのような中、多くの企業や関係機関等の支援を頂き、2年生が「企業見学」を実施しました。多くの部活動が既に代替わりしており、修学旅行や生徒会選挙を経ながら学校の中核が2年生に移行しつつある中、彼らには素晴らしい進路実績を残した先輩の壁がそびえ立っています。でも、大丈夫。先輩同様、君たちにも信頼できる担任団がついているのだから。



6 演劇部が「東北高等学校演劇発表会」進出。

10月28日から3日間、「第46回山形県高等学校総合文化祭演劇部門」が開催され、本校演劇部が「最優秀賞」を受賞し、東北大会への出場切符を獲得しました。本校の「最優秀賞受賞」は今回で4回目、平成19年の第34回大会では全国大会まで進出しており、東北大会出場は7年ぶりの快挙です。本校のテーマは「テーマの行方」。悩みながら少しずつ着実に成長していく四人の物語を、関場さん（E3）梅津君（L3）小林さん（G2）安部君（E1）が見事に演じ切りました。青春時代、葛藤しながら成長し合う様子を農業高校らしく「ミツバチ」に関連づけながら進行する劇は全ての観衆を魅了。多くの方々から大絶賛を頂きました。



7 農業高校らしい「国際交流」を実施。

10月末。タンザニア・ザンジバル野球代表チームが来校し、農業体験等を通して交流することができました。同チームが1週間程度長井市に滞在予定との情報を得た職員が、少人数で活動が続いている本校野球部員に少しでも充実した時間を過ごさせてあげようと誘致したもので、多くの職員が協力。「せっかくだから、3年生も農業体験で」「せっかくだから2年生も家庭科の授業で」と次々交流の和が広がり、週間もない短期間で準備完了。「生徒のためなら手間を惜しまない」本校の力を発揮した事業は、生徒達も大喜び。とても貴重な素晴らしい体験機会になったようです。



8 「保育や消費」を学ぶ人たち。

10月6日。2年生「家庭総合」の時間を利用して、「虐待防止」と「消費者保護」に係る講話をお聞きしました。現在の3年生から「18歳成人制」となり、婚姻や契約上のトラブルが以前以上に身近に迫る中、将来の被害加害を予防するために必要な知識を得ることが目的です。例えば「虐待」。保護者による暴力行為と



思われがちですが
 暴言や無視、育児放棄や夫婦喧嘩等心理的な行為も虐待にあたることや、全ての大人に「虐待行為を認知した場合の通報義務」があること、警察や児童相談所への通報方法（「1891111」）等も教えて頂きました。

大人になる為には被害予防の知識はもちろん必要ですが、他者を傷つけない責任感もより一層自覚しなければなりません。本校での実学を通して、大人になる前に一歩ずつ成長してくれることを願っています。



9 「置農植物園」の草花と昆虫

秋の植物園はいつにも増して色とりどり。虫たちが生き生きと暮らし、植物は来年に備えるかのように実をつけています。そのような中、就職試験開始から凡そ1ヶ月。例年以上に早く「全員内定」の知らせが届きました。就職希望者は全員一発内定。生徒達はもちろん、職員、保護者が一丸となつての頑張りが花開いたものであり、職員室も大いに沸いています。ここからは進学組の勝負。大輪の花が咲き誇ることを祈るばかりです。



10 「置農チャンネル」大好評!!

学校HP (<http://www.okitama-ah.ed.jp>)に加えてYouTube（「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード）でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・置賜農業高校の職員朝会・・・

赴任時最大の驚きは「職員朝会」でした。電子掲示板の活用等により多くの学校で縮小される中、本校では始業時に全員が起立して挨拶後、毎日朝会を実施しています。5分以内で必要事項を報告確認し合う朝会進行を務める筆者は常に必死ですが、仲間意識も高まり、有意義な時間になっています。

10月12日（水）の朝会では「迷子犬を探索した生徒達」について報告があり、生徒達の対応に感心された町民の方からお褒めの電話を頂いたとの報告に職員一同歓喜。生徒達のお陰でとても晴れやかな一日になりました。

今後の予定

【 12月 】

- 1 木 期末テスト（～6火）
- 13 火 役員選挙
- 16 金 クラスマッチ②
- 22 木 木ヶ-全国選抜（岐阜）
- 23 金 終業式、生徒集会
- 24 土 冬季休業（～1/5木）

【 1月 】

- 6 金 始業式
- 13 金 3年スキー①
- 18 水 2年スキー①
- 24 火 学年末考査
（3年生、～27金）
- 27 金 1年スキー①